

組合名：ぱれっと企業組合（令和2年度実施）

テーマ：新型コロナ禍の販売戦略 ～事業計画作成について～

背景と事業目的

以前は農協の女性部として食品加工を行っていた女性たちが、農協から独立した組織として法人化を行った企業組合で「りんごジュース・しみ餅・カリカリ梅」の製造販売を行っている。組合設立後5年が経過し、事業が順調に進んでいていた矢先、新型コロナウイルスの影響により売上に大きな打撃を受けたため、早急な対応策を図る目的で事業を実施した。

取組みの手法と内容

当事業を活用し、コンサルティング経験豊富な専門家からの指導のもと、組合内で話し合いを実施していく中で、これまでは「前年の実績を見て、それを下回らない程度で・・・」という感覚であったが、根拠となる数字や目的をもって経営計画を策定する必要があるとの指導を受け、製造計画・販売計画・収益計画の作成に改めて取り組んだ。また、コロナ禍の中での販売については、観光客を相手にしている土産館などの土産物店は売上の減少が予想されるので、地元住民の生活の一部になっている直売所をターゲットにしていくこと、顧客の中で多い高齢者層にアプローチするため、質を重視した商品づくりや紹介特典の検討、購買者に伝わりやすい表示などに取り組んでいくことを確認した。

事業の成果と今後の展開

専門家からの経営計画の策定助言や市場の客観的な評価を通じて、今後組合が取り組むべき内容が明確となり、コロナ禍における取組みの方向性が定められた。



組合名：協同組合山形流通団地（平成28～30年度実施）

テーマ：組合ビジョン等の策定および新事業の立ち上げ

背景と事業目的

組合設立から40年以上が経過し、組合員の世代交代、業種構成の多様化が進み、組合への参画意識や帰属意識が希薄化するとともに組合の求心力低下に対応していくことが課題となっていた。また、流通経済環境の変化に対応するため、中長期的な組合のあるべき姿や方向性を定める必要があり当事業を実施した。

取組みの手法と内容

当事業を活用して、若手理事を中心とした検討委員会を開催、専門家の指導も仰ぎながら、山形流通団地の「ミッション」「ビジョン」「モットー」「バリュー」などを成文化した。その後、それらを踏まえた新規事業の立ち上げについても検討が行われ、若手経営者交流、組合員ビジネス支援、レクリエーション事業、資源回収、駐車場、託児所事業の6事業が選定された。また、平成30年度には「山形流通団地経営交流会」が発足。組合ビジョンの実現に向け、新しい組合事業のアイデアの具体化や調査研究に取り組んでいる。また、活動の中で実施したアンケート調査結果から、要望の多かった防犯カメラ設置事業に着手、安心・安全な団地の実現と地域社会への貢献も実現している。

事業の成果と今後の展開

団地組合の存在意義を改めて見直し新規事業を立ち上げることで、組合の役割を明確にし、今後に向けてさらなる組合の組織力強化が図られた。

